



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

**MANKIND IS ONE—
Build Bridges of Friend Ship
Throughout the World**

**人類はひとつ
世界中に友情の
橋をかけよう**

1982~'83 R.I 会長 向笠広次

寺田会長 クラブターゲット 大切にしよう 好い仲間と 愛するクラブ

第 243 回 例会 58 年 4 月 21 日 第 249 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
49名	42名	87.5%	97.92%

欠席者

布施、池田、古田土、中西、竹之内、富沢
(病欠承認者 1名)

本日のプログラム 4月28日
「大和市の社会福祉について」
大和市長 大西 祝雄氏

次週予定 5月12日
「クラブ創立5周年記念式典準備打合せ会」

司会 SAA 土屋翁三君
ソングリーダー 上田利久君
「それでこそロータリー」

<ビジター>

鈴木孝君(藤沢北西)、星 幸男君、村田 仁君
渡辺浩之君、高橋政勝君(大和)

<会長報告>

会長イレクト
長谷川 清一君

- ①新会員候補者「南川 忠常」さんのお知らせを
知ます。異議のある方は10日以内に文書で申し出
下さい。
- ②次期の理事、役員、委員会のメンバー表を配布
します。どうぞ次年度をよろしく願います。

<幹事報告>

幹事
辻 国明君

- ①先に青少年交換学生、ホームステイへのアンケ
ートを寺田会長より各家庭へお願いしましたが、
本日がアンケート提出日になっていますので、次

期幹事へ提出下さい。

- ②神奈川新聞相模原支局開設に伴う誌面広告の依
頼が来ています。

- ③国際奉仕委員長より発表がありますが、韓国慶
州ナザレ園への墓金への御協力をよろしく願ひ
します。

- ④先にプログラム委員長より発表された通り、4
月24日の家族会は、創立5周年記念式典で行われ
ますので、中止。従って4月28日は、従来通りに
例会が開かれますので、誤りのないようにして下
さい。

- ⑤1983~84 年度地区協議会が、6月19日(日)
に開かれますので、出席該当者は出席を間違いの
ないようにして下さい。

創立5周年記念式典まで、あと……
17日 全員で力を合わせ、成功させよう!!

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：寺田 伍六
会長イレクト：長谷川 清一
副会長：猪 熊 唯 夫
幹事：郡 司 守
会報委員：伊藤(宣)・後藤・富沢

〈委員会報告〉

創立5周年記念式典実行委員会 蜂屋良平委員長

いよいよ創立5周年記念式典まで、あと24日となりましたが、既に4月19日に、ゲスト、来賓に案内状を発送いたしました。その写を回覧します。尚会員には招待状を発送しませんので、よろしくをお願いします。

また4月23日（土）午後4時30分より、各小委員会の進行状況の打合せを行いたいと思いますので、関係者は出席して下さい。

創立5周年記念式典接待委員会 猪熊 唯夫君

例会後、創立5周年記念式典接待、家族委員会を開きますので、出席該当者はお残り下さい。

国際奉仕委員会 委員長 北砂 富三君

地区より、世界社会奉仕として韓国の慶州ナザレ園へ、東慶州ロータリークラブを通じて第259地区の全クラブで応援したいとの決定をしたので、毎月30万円の援助をする為、地区内会員に今期は会員1人500円、来期から1人年1000円の浄財を寄付願いたいとの要請が来ています。そもそもこの件については、私共が東慶州RCとの姉妹クラブ締結の為訪韓した際、慶州ナザレ園を訪問したことが、地区の知るところとなり、このような動きに発展したことで大変嬉しいことでもあります。どうぞよろしく本日500円の御協力をお願いします。尚慶州ナザレ園とは、戦前韓国人と結婚した日本人女性が生活する施設であります。

社会奉仕委員会 副委員長 伊藤 英夫君

①身障児の一日レクリエーションの日時は、6月5日に決定しました。場所は、昨年の通り茅ヶ崎海岸で地引網を行います。雨天の時は箱根小涌園を予定しております。

②再生利用物資集積運動は、今回寺田会員、上田（利）会員に御協力いただきありがとうございました。

ゴルフ同好会

後藤 定毅君

①昨日3クラブ対抗ゴルフコンペ（座間クラブは欠席）に、多忙な中を出席いただいた会員諸兄に御礼申し上げます。特に松本（三）会員にはゲストを紹介いただきありがとうございました。

②6月19日（日）に、本年度最後の当クラブゴルフコンペを近藤会員の好意で箱根で予定しております。今から参加の予定をして下さるようお願いいたします。

親睦活動委員会

委員長 山中 忠誠君

①本日例会後、委員会を開催しますので委員の方はお残り下さい。

②本日のお祝いの人々を紹介します。

御夫人誕生日 金井君晴江夫人（4月24日）

結婚記念日 金井 大輔君（4月22日）

菊地 康公君（4月25日）

原田 穆君（4月26日）

猪熊 唯夫君（4月27日）

ロータリー一口知識

ロータリー精神と地域社会

やゝもすればロータリーは寄付団体と見られ勝ちであります。それはお金を出すが手を出さぬ、の旦那主義であり、お金ばかりに指導性があった時代は過ぎさりました。直接社会に飛びこんで、まず何が今一番求められているかを知る必要があります。そしてそのニーズが何故に生じたか、これを満すにはどのような手順や手段が必要であるかを調査研究する必要があります。それで社会を視る眼が養われ、おのずとロータリー精神を振り起こすこととなります。そしてその社会の要求を満たす奉仕が実行できたとき、その喜びは絶大であり、ロータリー精神はいやが上にも高揚されます。委員長まかせで奉仕を行なったと思い、或は会費を払って出席していれば、奉仕はクラブが代行してくれると考えたりするのは大きな誤りといわなければなりません。ロータリアンは個人個人が奉仕を実践することによって社会に奉仕することが出来るのです。

「雑誌週間によせて」

〈卓話要旨〉

雑誌委員会

今年の雑誌週間がやって参りました。今日はこの雑誌週間にちなんで若干、概略的な話とスライド、ザ・ロータリアン「愛と善意の歴史」をお届け致します。

御承知の通り、雑誌週間の目的はロータリアン誌、レビスタロータリア誌及びロータリーの友誌に対する会員の認識を高め、それによって購読部数を拡大することにあります。今年は4月24日から4月30日が雑誌週間になって居り、来年から特別週間は特別月間に変わります。従って1984年より4月が雑誌月間になる訳であります。

さて、ここでロータリーの友について若干アウトラインを申し述べておきますと

1. 私共が毎月購読しているロータリーの友は本来は地区ガバナーの機関誌として1953年1月に広い意味でのロータリー情報の普及を目的として発足したのですが、1980年7月号から日本のロータリークラブの為の公式地域雑誌という形でRI理事会により正式に指定され、今日に及んでいます。
2. ロータリーの友はロータリーの友運営委員会によって運営され、パストガバナーが委員長を委嘱されて運営責任を負っています。創刊時は3300部の発行部数でしたが、1983年、つまり30年後の2月号では94,100部、通巻362号を数えています。
3. 「友」の編集方針は日本のロータリー26地区の公式地域雑誌として国内ロータリークラブ及び会員の活動状況の紹介や親睦の増進を図り、内外各種ロータリー情報の掲載等によりロータリー精神の普及と活動の発展に寄与することを目的としています。
4. そして依頼原稿、会員からの投稿、ロータリアン誌からの翻訳・直接取材等によって作成されます。1972年1月からタテ組みとヨコ組み

に分け、表紙も両面にあるという画期的な体裁になりました。内容については平素御覧の通りですので割愛させて戴きます。

さて、それではこれから国際ロータリーの公式機関誌としてのロータリアン誌について、その歴史的全貌をスライドによってお届け致します。

ザ・ロータリアン「愛と善意の歴史」のスタートです。

＜ロータリアン誌、そしてそのスペイン語版のレビスタ・ロータリアは、共にロータリーに関する記事を報道する出版物であります。両誌は軌道通信衛生のように、6大陸に散在する約50万人の読者を結びつけ、また150以上の国々と地理的地域において個人対個人の接触を促進する役割を果たしております。ロータリーの機関雑誌は、1911年に発刊されて以来、その月刊配布部数を当初の3000部から今日では世界中にまたがって配布する50万部以上までに成長しており、その1部は、世界で最も小さな共和国、サン・マリノへも配布されております。機関雑誌は、ロータリアンにロータリーについて語るものであり、ロータリアンに世界について語るものであり、世界にロータリーについて語るものであります。機関雑誌は、国際ロータリーの年次国際大会を報道することをいづれの年でも最大の重要行事としております。同誌は国際大会が開催される度ごとに、それに先だって、大会で行われる諸行事、あるいは、大会開催地周辺で大会出席者が休日を楽しめられる諸行事や教養的な呼び物番組を調査した特集号を数回発行したりします。また、国際大会終了後は国際大会だけを広範囲にわたって編集した特集号を発行します。ロータリアン誌とレジスタ・ロータリアを発行することは、決して小さな事業ではありません。ロータリアン誌の年間予算だけでも、米貨にして200万ドル以上が計上されております。しかし有料の購読料金を通じて……〉

ロータリーインフォメーション ⑪

クラブ例会への出席について

会員の出席率が100%ならこれは結構なことに相違ない。しかし“良い出席”と“完全出席”とは異なることに注意しなければならない。往々あるクラブで、続けて100%の出席記録を得ようとして“記録を作る”ことに執着することがある。こんな場合必ず会員が減ってクラブの活動が鈍るのである。おそらくは良いロータリアンであろう会員が例会に欠席しなければならないようになることをおそれて、クラブの記録を損うよりはむしろ退会しようと思うこともあるであろう。またある人は、単に出席の記録を樹立することよりも、ロータリーにはもっと何かがある筈であると考えて退会するかもしれない。

ロータリークラブの活動にとっては良い出席率は必要欠くべからざるものである。常に90%以上の出席率を毎週得ているクラブは当然その記録を誇りにしてよいのである。このような平均出席率は、会員が友情とプログラムを楽しんで出席している証拠であって、単に出席率ということに執りつかれてはいないということである。

良い出席とはある目的達成の手段であって決して目的そのものではないのである。

奉仕の理想

ロータリーの綱領には「尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且育成し………」とあって、「奉仕の理想」という語はロータリーの基となっているのであるが、この“理想”という語から時に誤解を生じているようである。原語はいうまでもなく“*Ideal of service*”である。

ところで日本語で“理想”というと、現実には到達し得ない、ある完全な状態というように考えられる。したがって奉仕の理想という一つの遥かなる彼方であって、目標であり、常に保持すべきものではあるが、達成はできないものと考えてしまう。そこで奉仕の理想とは何だ

という疑問と諦めとがおこる。

この語は既に言い慣れていて不思議とも何とも感じないものであるが、この“理想”という語を“観念”という語に取替えて見たらどうであろう。“*ideal*”という語にはこの“観念”の意がある。もっとくだけて言えば“奉仕の気持”である。この気持を奨励且つ育成することであるから何も難かしいことではない。

他人の身になって考えて行動するのが奉仕である。思いやりの心が奉仕となって現れる。

(故 笹部パスト・ガバナー著
「ロータリーあれこれ」より)

<スマイルボックス>

委員長

合田 良徳君

藤沢北西R C 鈴木会員 度々お世話に成ります。

本日は所用のため途中失礼させていただきます。

大和R C 星会員 村田会員 高橋会員 渡辺会員 本日もお世話になります。

後藤君 3クラブ合同ゴルフコンペで、B、B賞を伊藤英さんに譲り名前の通り「五等」を取りました。あとどうしても取れないのは「一等」だけです。次回に頑張ります。

二見君 2回ホームクラブ欠席いたしました。申し訳ありません。

金井君 ①女房の誕生祝と結婚記念のお祝いありがとうございます。末長く仲良くします。

②遅刻した事をお詫び申し上げます。

猪熊君 忘れていました。私にも結婚記念日があった様です。愛妻に教えてやろうと思います。

原田君 お祝い有難うございます。26年になりました。今後共記録更新を目指します。

菊地君 20年になります。有難う。

クラブ例会においてロータリーソングが歌われ始められたのは、ハリー・L・ラッグルス(印刷業)、第四番目のロータリアンによってであります。歴史は長いのです。皆さん元気よく歌いましょう。